

は じ め に

企業・事業再生が大きな課題となり、様々な専門家が登場し、ビジネスとしても進展するようになってきています。中小企業庁が全国の都道府県単位に認定機関として指定した中小企業再生支援協議会は着実に実績を積んでいます。当山口県においても、同協議会のマネージャー5人のうち3人は山口県支部の会員診断士が任に当たっています。しかも再生案件のほとんどは、やはり会員診断士が外部専門家となって成果を挙げています。

今般、山口県支部では、山口県内の8信用金庫全てと業務提携を行いました。提携の背景は、信用金庫との情報交換会において、信用金庫の取引先の経営革新や再生ニーズは高いものの、信用金庫側としてはそれらに対応する経験やノウハウに限界があるという課題を抱えていたからです。今その実に向けて進行中ではありますが、この機会に信用金庫の経営実態に迫ろうと考えました。

本調査研究は提携信用金庫に直接赴き、インタビューすることで地域の金融機関としての方向性や現在の状況を聴取しました。おりしも信用金庫側は「地域密着型金融の機能強化に関するアクションプラン」を作成したところであり、機を得た取り組みとなりました。

本調査は、山口県支部の再生支援に直接関わっている診断士が中心となってまとめました。信用金庫の抱える問題は、企業の再生支援に係わらず広範なものがありますが、我々診断士の専門領域の中に存在するものが殆どですので、本機会を契機に一層の提携効果の実が挙がることが期待されます。

最後に、本調査事業に快くご協力いただきました信用金庫の皆様、そして様々な形でご協力いただきました関係者に心から謝意を申し上げます。

平成17年12月

(社) 中小企業診断協会山口県支部

支部長 弘利 要